

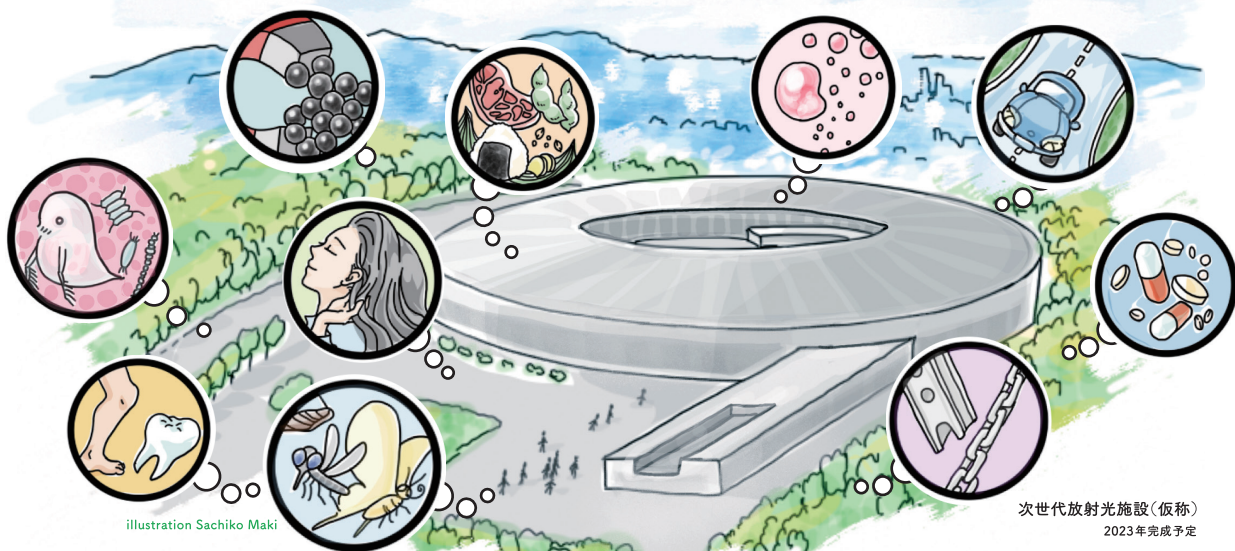
だい かい じせだい ほうしゃこう せんだい みらい かいが
第1回「次世代放射光と仙台の未来」絵画コンクール

おうぼきかん とうじつけしんゆうこう
応募期間：2020年12月1日(火)～2021年1月11日(月) (当日消印有効)

み
★
えんたらしいなの
せ かい てん
世界展

たいしょう しょうがく ねんせい ねんせい
対象：小学1年生～6年生

かがく げいじゅつ かんさつ せんだい せかい さいせんたん ひかり み きょだい
科学や芸術の始まりは観察です。いま、仙台に世界最先端の光で「もの」を見る「巨大な
けんび鏡」が2023年をめざして建設されています。完成すれば、ここには、「もの」をつ
くる世界中の人たちが、「ナノの世界」を見て、「なぜ？」をしらべるために集まります。



みなさんも、「みえたらいいな」を絵にえがいてみませんか？

とくしょう じゅしょうしゃ しせつ かんせい とうほくだいがく けんきゅうしゃ いっしょ きょだい
特賞 受賞者は、この施設が完成したとき、東北大学の研究者と一緒に、この「巨大な
けんび鏡」を使って、見たいものを見ることができます。

みなさんの作品をお待ちしています！

とくしょう
特賞

ししょう かいめい
ナノワールド・チャレンジ賞 (1名)

じせだいほうしゃこうしせつ しゅさいしやしてい いちにちしろうけん としよ えんぶん
次世代放射光施設の1チームライン(主催者指定)の一日使用权・図書カード5,000円分

じてん
次点

みらい じしょう かいめい
未来のひかり・デザイン賞 (1名)

としよ えんぶん
図書カード5,000円分

にゅうしょう
入賞

ししょう かいめい
ナノ・サイエンス賞・ナノ・デザイン賞 (各5名)

としよ えんぶん
図書カード1,000円分

かさく
佳作

ししょう かいめい
イノベーション・パートナー賞 (50名)

きねんひん
記念品

くわ うちめん らん
詳しくは、裏面や、ホームページをぜひご覧ください。

ナノの世界をのぞくと、未来がみえる!?
イラストでシンクロtron光を解説! 「みえたらいいな」のヒントもあるよ!



www.sris.tohoku.ac.jp/
nanotan/

応募要項

テーマ

「次世代放射光と仙台の未来」(未発表の作品、お一人一点に限ります)

あなたが詳しく見てみたい「もの」はなんですか？

身近な「もの」のナノの世界を想像しよう！

未来の暮らしの「みえたらいいな」を想像しよう！

応募期間

2020年12月1日(火) ~ 2021年1月11日(月) 当日消印有効

応募方法

指定の大きさの画用紙に絵をえがく

画用紙の指定のサイズは「八つ切り」または「B4」とします。画材は自由(絵の具、色鉛筆など)です。サイズをまもらない作品は受賞の対象となりません。

八つ切り
380×270mm

B4
364×257mm

応募用紙を作品の裏面に貼る

応募用紙を下のQRコードまたはホームページからダウンロードして印刷してください。必要事項を記入のうえ、1作品に1枚貼り付けてください。



郵送で応募する

封筒または箱に作品を入れてください。団体応募の場合は、団体用応募用紙をご記入の上、作品と一緒に送付ください。配達完了は、**応募者ご自身**で確認できる郵送手段を選んでください。

※作品が折れないようにお送りください。

応募の宛先

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター 絵画コンクール事務局

お問い合わせ

メールアドレス sris@grp.tohoku.ac.jp

入選発表

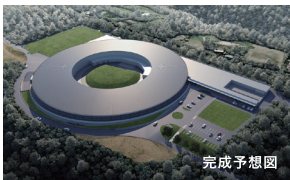
2021年3月末 東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センターのホームページ上で発表いたします。

■特賞・次点・入賞の方の表彰式を予定しています。■受賞作品は、次世代放射光施設内での展示を予定しています。■特賞の副賞1の実施にあたっては、受賞者と大学の担当者が、事前に研究テーマの設定や実験方法の打合せを行います。

同意事項

■作品が破損しないようにしっかり梱包してください。到着時の作品の破損についての責任は負いかねます。■応募作品に関する所有権・著作権等の権利は、主催団体に帰属するものとします。※作品応募にあたってご提供いただきました個人情報、コンテスト運営上、必要な利用目的の範囲内(入賞者へのご連絡、賞状および副賞の発送、ホームページにおける発表)において利用いたします。■応募作品は返却いたしません。■応募作品の到着確認、審査結果などについてのお問い合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

次世代放射光施設



2023年、仙台に「巨大な顕微鏡」(次世代放射光)ができます。

世界初の利用の仕組みが導入され、学術も産業界も研究開発に使うことが出来る新しい施設。地域と共に、新しい製品や技術を生みだし、国と世界をゆたかにするための、国家プロジェクトが進行しています。

放射光施設とは？

円形の次世代放射光施設では、ほぼ光の速さまで加速した電子ビームを、世界最先端の技術で細くしぼり、周回させています。電子ビームが曲げられたときに、明るく鋭い光「シンクロトロン光」が放たれます。軽元素や遷移金属元素を見ることが得意な次世代の光。データ科学との融合などにより、計測技術も進化します。

